

介護予防ボランティアによる「高齢者集いの場」への支援

経緯

平成18年から毎年、介護予防ボランティア養成講座を実施しているが、その後の活動になかなかつながらない…



修了者106名にアンケート実施、OB会を設置し話し合いを重ねた



話し合いの中から…

自分たちで地域の集会所を開けて、
高齢者が気楽に集まれる場所づくり
をやってみたい

特徴

自主的な集まりであり、ボランティアがスタッフでもあり、
メンバーである。周知方法、事業内容等自分たちで決めている。

☆地域によって事業内容は様々

特別な内容は行わず、茶話会の
みとするタイプ

ゲームやレクリエーションを行うタ
イプ

ボランティア講師を招き、ヨガや
ハーモニカ演奏等を楽しむタイプ



地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

① 区町村名	ときがわ町
② 人口（※1）	12,372人 平成25年4月30日現在 ()
③ 高齢化率（※1） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	65歳以上 3,541人 75歳以上 1,797人 () 高齢化率 28.6%
③ 取組の概要	地域包括支援センターでは平成18年から毎年、介護予防ボランティア養成講座を実施しているが、その後の活動につながっていなかった。そこで、平成18年から23年までの養成講座修了者に106名にアンケートを実施し、今後のボランティア活動について聞いた。その内容からOB会を設置し、話し合いを実施した。話し合いの中で、ボランティアOB会参加者から「自分たちで地域の集会所を開けて、高齢者が気楽に集まれる場所づくり」をやってみようという声があがり、実際に3地区でボランティアによる自主的な「高齢者集いの場（仮称）」が開始された。
④ 取組の特徴	行政や専門職が直接には手をださない、自主的な集まりであり、ボランティアがスタッフでもあり、メンバーである。周知方法、事業内容等、自分たちで決めており、そのため地域によって事業内容がさまざまである。
⑥ 開始年度	平成24年9月より
⑦ 取組のこれまでの経緯	平成24年1月～3月にかけて介護予防ボランティア養成講座修了者にアンケートを実施。その結果から、OB会を開催し、隔月で話し合いを行った。平成24年9月より3集会所でOBが主体の「集いの場」が開催された。月1回程度の定期的開催を続けており、定着してきた。OB会は引き続き開催し、話し合いや研修会を実施している。 平成25年5月より新たに1地区で「集いの場」が開催される予定。地域包括支援センターでは地域の区長、民生委員にこの活動の目的を説明し、集会所の貸し出しにご理解をいただくよう支援している。
⑧ 主な利用者と人数	地域の65歳以上の高齢者 ボランティア、参加者合わせて各地区集会所 10名～15名程度
⑨ 取組の実施主体及び関連する団体・組織	実施主体は「介護予防事業ボランティア養成講座修了者」 （事務局及び協賛）地域包括支援センター（協賛・後援）役場福祉課、社会福祉協議会
⑩ 市区町村の関与（支援等）（※2）	「集いの場材料費等」 需用費 消耗品 100,000円 「介護予防事業サポーターフォローアップ研修」 報償費、講師謝礼 138,000円
⑪ 国・都道府県の関与（支援等）（※3）	無

⑫取組の課題	送迎の問題。地域の集会所でも山奥等の段差のある場所では送迎がないと集まれない。事故などがあった場合のボランティアの責任。
⑬今後の取組予定	ボランティアの自主的な活動のため、今後も福祉課、社会福祉協議会との連携を密にして、ボランティアが活動がしやすいよう支援していく必要がある。
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	地域包括支援センター（保健センター内） 0493-65-1010

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。

平成25年度介護予防事業サポーターフォローアップ研修実施要領

1 目的

介護予防に関する知識を高め、各地域で活動できる人材を養成する。また、地域の高齢者同士が助けあい、自主的に介護予防活動に参加し、取組めるような地域社会の構築を図ることを目的とする。

2 目標

地域包括支援センターへの活動協力者及び地域の高齢者支援・介護予防支援として、介護予防に携わるための知識の習得を目指し、各地域で自主的に活動できる人材を養成する。要援護高齢者や一人暮らし高齢者の介護予防を支援し、自らの介護予防にも生かせる内容とする。

3 事業内容

介護予防事業サポーターフォローアップ研修修了者のうち参加希望者に隔月で集まってもらい、意見交換会（交流会）研修会、などを実施し、地域集会所単位での「高齢者集いの場」の充実を図る。

4 対象

平成18年～23年度に介護予防事業サポーター養成講座を概ね修了した者のうち、平成23年度実施のアンケートにて「高齢者集いの場」にて「活動できる」「条件により活動できる」と回答した55名、及び、平成24年度介護予防事業サポーター養成講座を修了した者。

5 開催日程

平成25年5月より隔月実施 おおむね年6回程度

6 会 場

ときがわ町保健センター

7 スタッフ

保健師、社会福祉士、及び研修会では専門分野の講師に依頼する。

8 予 算

介護保険特別会計 (款) 地域支援事業
 (項) 介護予防事業費
 (目) 一次予防事業費
 (節) 報償費、講師謝礼
 (予算額) 介護予防サポーターフォローアップ研修
 23,000 円×6 回=138,000 円

9 参加費

無料

10 その他

(1) 周知

介護予防サポーター養成講座修了者だけでなく、民生委員、区長、老人クラブ、健康かわせみ会、愛育班などの協力を得ながら、地域での「高齢者集いの場」への実施に向けて準備していく。